

海外ボランティアへ支援物資を発送しました

セネガル共和国で活動を行っている海外ボランティアから支援物資(算数セット・大なわ)の要請があり、令和5年8月29日～11月8日まで募集をしたところ、計65点(個人10名、団体3団体)と多くの県民の皆様からのご協力をいただきました。

【支援物資の要請について】

物資要請者	氏名：小林 桃子 (こばやし ももこ) JICA 青年海外協力隊 2022年度3次隊 (派遣期間：令和5年1月23日～令和7年1月22日) 職種：小学校教育 配属先：ティエス市視学官事務所
募集物資	算数セット・大なわ
物資提供先	セネガル ティエス市内の小学校
支援物資の要請の動機	<p>【算数セット】</p> <p>現地の小学校1年生や2年生は「バトネ」と呼ばれる数え棒を使って数を数える勉強をしています。しかし、その「バトネ」を持っていない子や、足りない分を校庭で拾ってきた枝や石で代用しているといった姿をよく見かけます。</p> <p>日本の小学校では算数セットの箱に入っている時計の模型を使って時刻を学習したりすることがありますが、セネガルではそういった教材のバリエーションが少ないのが現状です。数え棒を枝で代用しているように、現地にあるもの(枝や石)で工夫して教材を作っている先生たちもいますが、劣化が激しくすぐに壊れてしまいます。</p> <p>そのため、日本の小学生で使わなくなった算数セットを普段の算数の授業に使いたいと思っています。</p>

支援物資の
要請の動機

【 大なわ 】

来年度、現地の小学校で運動会を開催する予定です。運動会を行う目的のひとつに体育をもっと普及させたいというねらいがあります。

しかし、学校ではあまり体育は行われていません。体育を授業で取り組むことになってはいますが、どうやって体育を教えたらいいのか分からない先生が多い、教材がないなどといった理由から後回しになっている教科です。体育の教材にバリエーションがあれば体育にとりくむ学校も増えてくると思います。

そこで今回、大なわ跳びを体育で取り組んでみたいと考えています。また、工夫すれば、大なわひとつでいろんな運動を楽しむことができます。そして、運動会でも障害物競争などに使ってみたいと思います。

【提供いただいた物資について】

募集物資	提供数
算数セット	算数セット 26セット
大なわ	算数セット単品（数字ブロック・時計など） 11点
	大なわ 24点
	なわとび 4点

計 65点

<提供いただいた物資の一部>



【発送作業時の様子】



集まった算数セット・大なわ等は、ご提供いただいた方からのメッセージとともに12月14日にセネガル共和国へ向けて発送いたしました。
皆様のご協力ありがとうございました！